

第1号様式（第2条関係）

風致地区内行為 許可申請書
協議 協議

年 月 日

（宛先）桜井市長

申請者 住所
協議者 氏名
（電話 ）
代理人 住所
氏名
（電話 ）
〔 法人の場合には主な事務所の所在地
及び名称並びに代表者氏名 〕

桜井市風致地区条例第2条 第1項 第3項 の規定による風致地区内の行為の 許可 を 受け たいので下記
の通り関係図書を添えて 申請 します。
協議

記

1 行為の種類	(ア) 建築物その他の工作物の新築、改築、増築又は移転 (イ) 建築物その他の工作物の色彩の変更 (ウ) 宅地の造成、土地の開墾その他の土地の形質の変更 (エ) 水面の埋立て又は干拓 (オ) 木竹の伐採 (カ) 土石の類の採取 (キ) 屋外における土石、廃棄物又は再生資源の堆積			
2 行為の目的及び理由		5 行為地の地貌		
3 行為地の所在地（地名・番地）		6 行為の期間	着手予定 年 月 日 完了予定 年 月 日	
4 行為地の地目	(ア)田 (イ)畑 (ウ)宅地 (エ)山林 (オ)原野 (カ)その他（ ）	7 行為の内容	関係図書別添	
※摘要				
設計者	住所		氏名	電話
工事施工者	住所		氏名	電話

注

- 1 申請者又は協議者は本人とします。許可申請を代理人がする場合は、別に委任状を添付してください。
- 2 「行為地の所在地」については、それが広域にわたる場合は、「××地内」又は「××地の一部」と記入してください。
- 3 1、4については該当事項に○印を付けてください。
- 4 2、5については、具体的にわかりやすく記入してください。なお、5の「行為地の地貌」については、傾斜地平坦地の別、林地、伐採跡地等及び立木竹、その他の工作物等の有無を記入してください。
- 5 ※印欄は、記入しないでください。

建 築 物 設 計 書

建築物の 種別と工 事の種別	工 事 概 要				構造、屋根、外壁、階数等			
		申請部分	申請以外 の 部 分	合 計				
Ⅰ 地上に 設ける建 築物で仮 設でない ものの (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	1 敷 地 面 積			(A) m ²	11 構 造	(ア)木造 (イ)鉄筋コ ンクリー ト造 (ウ)その他 〔 〕	14 階 数 (ア)1階 (イ)2階 (ウ)その他 〔 〕	
	2 建 築 面 積 (滅失又は改築前)	m ² (m ²)	m ²	(B) m ² (m ²)				
	3 建 ぺ い 率 (B)/(A)×100			%				
	4 延 べ 床 面 積 (滅失又は改築前)	m ² (m ²)	m ²	m ² (m ²)				
	5 最 高 の 棟 高 (滅失又は改築前)	m (m)	m	m (m)				
	6 外壁 の後退 距離(滅 失又は 改築前)	道路側	m	m	12 屋 根	(ア)かわら ぶき (イ)その他 〔 〕	※15 摘要	
		その他	m	m				
		(道路側)	(m)	(m)				
		(その他)	(m)	(m)				
	7 植栽 の状況	高 木	本	本	13 外 壁	(ア)板張 (イ)モルタ ル塗 (ウ)しつく い塗 (エ)その他 〔 〕		
		中 木	本	本				
		低 木	本	本				
		樹木に よる植 栽面積	m ²	m ²				
		芝生等	m ²	m ²				
		計	m ²	m ²				
	8 緑 地 率 (C)/(A)×100			%	9 用 途 (滅失又は改築前)			
		()		()				
	10 色彩	屋 根 外 壁						
Ⅱ 地下に 設ける建 築物の (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	1 敷 地 面 積			m ²	5 構 造	(ア)鉄筋コ ンクリー ト造 (イ)その他 〔 〕	※6 摘要	
	2 地下占用面積	m ²	m ²	m ²				
	3 延 べ 床 面 積	m ²	m ²	m ²				
	4 建 築 物 の 最小土かぶり 厚	m	m	m				
Ⅲ 仮設建 築物の (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	1 敷 地 面 積			m ²	8 構 造	(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)その他 ()	10 外 壁 (ア)板張 (イ)鉄板張 (ウ)その他 ()	
	2 建 築 面 積	m ²	m ²	m ²				
	3 延 べ 床 面 積	m ²	m ²	m ²				
	4 最 高 の 棟 高	m	m	m	9 屋 根	(ア)鉄板ぶき (イ)スレー ト ぶき (ウ)その他 ()	※11 摘要	
	5 用 途							
	6 色彩	屋 根						
		外 壁						
	7 設 置 期 間	自 年 月 日 至 年 月 日						

注

- 1 「建築物の種別と工事の種別」欄については、該当番号及び符号に○印を付けてください。
- 2 「工事概要」欄については、空欄には事項又は数字を記入してください。事項が列記してあるものについては該当事項の全てに○印を付け、「その他」事項がある場合には括弧内に事項を具体的に記入してください。
- 3 1つの建築物で地階がある場合は、地階部分についてはⅡにも記入してください。
- 4 I－6の「外壁の後退距離」欄は、最短部分の距離を記入してください。
- 5 I－7の「植栽の状況」、I－8の「緑地率」については、新築の場合のみ記入してください。
- 6 Ⅱ－3の「延べ床面積」は、地階部分のみの床面積の合計です。
- 7 ※印欄には、記入しないでください。

工 作 物 設 計 書

工作物の 種別と工 事の種別	工 事 概 要				構 造 そ の 他			
		申請部分	申請以外 の 部 分	合 計				
Ⅰ 地上に 設ける工 作物で仮 設でない ものの (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	1 工作物の種類				6 構造	(ア)木造 (イ)鉄骨造 (ウ)石造 (エ)ブロック 造 (オ)鉄筋コン クリート造 (カ)その他 〔 〕	※7 摘要	
	2 敷地面積	m ²	m ²	m ²				
	3 規模	水平投影面積 (改築前)	m ² (m ²)	m ² (m ²)				m ² (m ²)
		高 さ (改築前)	m (m)	m (m)				m (m)
		その他 (改築前)	()	()				()
		(改築前)	()	()				()
	4 色 彩							
	5 用 途							
Ⅱ 地下に 設ける工 作物の (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	1 工作物の種類				5 構造	(ア)鉄筋コン クリート造 (イ)その他 〔 〕	※6 摘要	
	2 規模	水平投影面積 そ の 他 ()	m ²	m ²				m ²
	3 工作物の最小 土かぶり厚	m	m	m				
	4 用 途							
Ⅲ 仮設の 工作物の (ア)新築 (イ)改築 (ウ)増築 (エ)移転	1 工作物の種類				4 設置 期間	自 年 月 日 至 年 月 日		
	2 規模	水平投影面積	m ²	m ²				m ²
		高 さ	m	m	m			
		そ の 他 ()				5 構造	(ア)鉄骨造 (イ)木造 (ウ)その他 ()	※6 摘要
	3 用 途							

注

- 「工作物の種別と工事の種別」欄については、該当番号及び符号に○印を付けてください。
- 「工事概要」欄については、空欄には事項又は数字を記入してください。事項が列記してあるものについては該当事項の全てに○印を付け、「その他」事項がある場合には括弧内に事項を具体的に記入してください。
- Ⅰ－2の「敷地面積」は、建築物の敷地内の行為の場合は建築物敷地の面積を記入してください。なお、建築物の敷地外の場合で敷地面積が算定できない場合は記入する必要はありません。
- Ⅰ－3、Ⅱ－2、Ⅲ－2の「水平投影面積」は全ての工作物について記入してください。なお、工作物が2つ以上になるときは、個々の面積と合計面積を記入してください。
- Ⅰ－3、Ⅱ－2、Ⅲ－2の「規模」の欄中「その他」欄には、長さ、幅員、面積、容積等を記入してください。
- ※印欄には、記入しないでください。

色 彩 変 更 設 計 書

1 変更するものの種類		※7 摘要
2 現在の色彩		
3 変更後の色彩		
4 変更場所の地盤面からの高さ	mから m	
5 変更面積	m ²	
6 変更するために用いる材料又は塗料の種類		

※印欄には記入しないでください。

土地形質の変更・土石類の採取・水面の埋立・干拓設計書

I 土地 形質の 変更	1 行 為 場 所	(ア)建築物の敷地内 (イ)建築物の敷地外	4 行 為 面 積	m ²	※10 摘要	
	2 隣接地の現況		5 切 土	m ³		
			盛 土	m ³		
			客 土	m ³		
	3 造成等に係る 土地の面積	森林の 区域内	移動土量 そ の 他 ()	m ³		
		森林の 区域外	6 生じる法面の最高高	m		
		計 (a)	7 跡地の処理方法			
	8 植栽の状況		木竹が保 全される 土地の面 積	適切な植栽 が施される 土地の面積	合 計	
		高 木	本	本	本	
		中 木	本	本	本	
		低 木	本	本	本	
		樹木による 植 栽 面 積	m ²	m ²	m ²	
		芝 生 等	m ²	m ²	m ²	
		樹 林 又 は 群 植	m ²	m ²	m ²	
		計	m ²	m ²	(b) m ²	
	9 緑 地 率 (b)/(a)×100				%	
II 土石 類の採 取	1 採取区域面積	m ²	4 採取土石 類の種類		※6 摘要	
	2 採 取 量	m ³	5 跡地の処 理 方 法			
	3 採 取 方 法	(ア)横杭掘 (イ)たて杭掘 (ウ)斜杭掘 (エ)その他 ()				
III 水面 の埋立 ・干拓	1 水 面 面 積	m ²	4 工事方法		※6 摘要	
	2 埋立（又は干 拓）面 積	m ²	5 跡地の処 理 方 法			
	3 隣接地の現況					

注

- I、II、IIIの行為のうち該当する行為にだけ○印を付け、該当行為欄に、○印、事項、数字等を記入してください。ただし、行為が2つ以上にまたがるときは、それぞれについて同様に記入してください。
- I-2、III-3の「隣接地の現況」欄には、林地、伐採跡地、草生地等の別、立木竹、建築物、その他の工作物等の有無を記入してください。
- I-5の「移動土量」欄の「その他」に該当する場合は、「掘さく搬出」等事項を具体的に記入してください。
- I-7の「跡地の処理方法」欄には、裸値、砂利舗装、埋戻し等のほか、法面についても、芝付けコンクリートブロック擁壁、放置等具体的に記入してください。
- II-3の「採取方法」欄の「その他」に該当する場合は、事項を具体的に記入してください。
- ※印欄には、記入しないでください。

木 竹 類 伐 採 設 計 書

I 森林地内の伐採	1 林 相	(ア)針葉樹林 (イ)広葉樹林 (ウ)針広混交樹林 (占領面積比 針:広) (エ)竹林	4 伐採区域面積	m ²	※9 摘要		
			5 伐 採 量	m ²			
			6 伐 採 方 法	(ア)皆伐 (イ)択伐 (択伐率 %)			
	2 林令又は 林令範囲		7 伐採主要樹種				
	3 隣接地の 現 況		8 伐採跡地の 処 理 方 法				
II 森林地外の伐採	II1 集団をなす立木竹の場合	1 隣接地の 現 況	2 伐採区域面積	m ²	※7 摘要		
			3 伐 採 方 法	(ア)皆伐 (イ)択伐 (択伐率 %)			
			4 伐 採 量	本			
			5 伐採主要樹種				
			6 伐採跡地の 処 理 方 法				
	II2 独立木の場合	1 樹種名	2 樹 齢	3 樹 高	4 目通幹 まわり	5 数 量	※6 摘要
			約 年	m	m		

注

- I、II、II1、II2については該当する番号に○印を付けてください。なお、該当行為が2つ以上にわたる場合は、それぞれに○印を付けてください。
- I-6、II-II1-3については、該当する番号に○印を付けてください。また、(イ)に該当する場合は択伐率を括弧内に記入してください。
- I-3、II-II1-1の「隣接地の現況」欄には、土地の状況、立木竹、建築物、その他の工作物の有無とその種類等を記入してください。
- I-6-(イ)、II-II1-3-(イ)の「択伐率」は伐採区域における総材積に対する択伐量です。
- I-8、II-II1-6の「伐採跡地の処理方法」欄には、植栽、放置等を記入してください。
- II2-4の「目通幹まわり」とは、1.5mの地上高の幹周長で、双幹以上のものは、各幹まわりの合計の70%を採り、1.5mのところは枝の分かれ目のときは、すぐ上部の寸法を採用してください。
- ※印欄には、記入しないでください。

屋外における土石・廃棄物・再生資源の堆積設計書

1 行為場所	(ア) 建築物 の敷地内	3 行為地の面積	m ²	※7 摘要
	(イ) 建築物 の敷地外	4 堆積の規模 〔 面積・ 高さ・ その他 〕		
2 隣接地の 現 況		5 堆積物の種類	(ア) 土石 () (イ) 廃棄物 () (ウ) 再生資源 ()	
		6 植栽等の措置		

注

- 2の「隣接地の現況」欄には、林地、伐採跡地、草生地等の別、立木竹、建築物、その他の工作物等の有無を記入してください。
- 4の「堆積の規模」欄には、堆積の水平投影面積、高さのほか延長、体積等を記入してください。
- 5の「堆積物の種類」欄には、該当符号に○印を付け、それぞれの括弧内に、具体的に記入してください。
- 6の「植栽等の措置」欄には、植樹する樹木名、本数、高さのほか、塀などによる堆積物の遮蔽に関する措置を具体的に記入してください。
- ※印欄には、記入しないでください。